

1. 先週は、預言者エリヤさんの活躍についてお話ししました。覚えてるかな？

悪い王様が支配していた北イスラエルで、エリヤさんは、「神様は怒っていますよ、このままでは雨が降りませんよ」と預言したんだよね。あれから3年、本当に雨がまったく降りませんでした。神様がおっしゃったことは、本当だったんだね。

2. アハブ王 「おいエリヤ、雨が降らないのはお前のせいだぞっ！」

エリヤ 「何を言っているんですか、あんたのせいでしょ!! 王様はホントに分からず屋ですね。だったら、王様が信じている偽者のバアルの神と、私の信じている聖書の神様と、どちらが本物なのか、勝負しようじやありませんかっ！」

3. こうしてバアルの神につかえる預言者たちと、聖書の神様につかえるエリヤさんは、カルメル山で対決することになったのです！

4. 集まったバアルの預言者は、何と450人！ あっ、ここには4人しか書いていないけど、本当は450人もいたんですよ。聖書の神様を信じる預言者はエリヤさんただ一人・・・1対450の対決が始まりました！

5. 対決の内容は、どちらの神様が天から火をくだすことができるかどうか、というものでした。

バアルの預言者たちは、一生懸命バアルの神にむかって祈っています。

「バアルの神よ、火を降らせてください。バアルの神、バアルの神、火を、火を降らせてくださ〜い！」

でもどんなに祈っても、全然火が降ってくる気配はありません。今度は、エリヤさんの番です。エリヤさんが神様に祈ると・・・

6. エリヤ 「ひあ〜っ、冷たいっ！ 火じゃなくて、雨が降ってきたよお・・・」

7. しかもその雨を降らせていたのは、みなこさんでした・・・なんてことがあるはずないでしょ!!

8. そうですね、ホントは、ちゃ〜んと神様は天から火を降らして下さったのですね！ エリヤさんが用意した祭壇のマキもささげものも、すっかり燃えてしまいました。しかもその祭壇には、水がびっしょりとかけてあったんです。つまり、誰かが火をつけてズルしたとか、偶然に火がついたということじゃないって証拠なんだね。そう、神様が天から火を送って下さったっていう、何よりの証拠でした。こうしてエリヤさんはバアルの預言者たちに勝利し、聖書の神様が本物だということを証明したんですね。

9. 「それを見た人々は、その場にひれ伏し、『こそ神だ！ こそ神だ！』と叫びました。」 Ⅰ列記 18:39

私たちは、このエリヤさんが信じていた神様と同じお方を信じているんです。だから、私たちの信じている神様は、生きておられます。これからも、本当の神様を信じ続けようね。

おしまい。